

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	総合英語Ⅱ A	
科目基礎情報							
科目番号		0021		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		一般科目		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		4	
教科書/教材		検定教科書「Ambition English CommunicationⅡ」（開隆堂），いいずな書店編集部「Evergreen English Grammar 25 Lessons」（いいずな書店），桐原書店編集部「Data Base 3000」（桐原書店） / 参考書：川崎芳人「Evergreen」（いいずな書店）					
担当教員		藤田 憲司					
到達目標							
1 聞き手に伝わるよう，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，音読あるいは発話できる。 2 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう，英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 3 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 4 平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		聞き手に伝わるよう，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，音読あるいは発話を適切に行うことができる。		聞き手に伝わるよう，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，音読あるいは発話のある程度行うことができる。		聞き手に伝わるよう，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，音読あるいは発話を適切に行うことができない。	
評価項目2		明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう，英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう，英語の発音・アクセントの規則を習得してある程度運用できる。		明瞭で聞き手に伝わるような発話ができず，英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できない。	
評価項目3		説明や物語などの文章を毎分 100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読が十分にできる。		説明や物語などの文章を毎分 100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読がある程度できる。		説明や物語などの文章を毎分 100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読することができない。	
評価項目4		平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報がある程度読み取ることができる。		平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (iv)							
教育方法等							
概要		様々なジャンルの英語に触れながら，「読む」「書く」「聴く」「話す」の4技能を総合的に学ぶ。特に，英語の構文を身につけ，英語による理解や自己表現ができるようになるための基礎を養う。					
授業の進め方・方法		【授業方法】 週2回の授業でリーディングと文法を並行して学ぶ。リーディングについては予習を前提としたうえで，単語の発音，本文の聴き取りと音読，意味の理解を中心として，発音と読解力の基礎を身につける。文法については例文の説明と練習問題を通して，英語表現の基礎となる文法構造を身につける。適宜，課題，小テスト，発表等を課す。 【学習方法】 毎回事前に，分からない単語の品詞と意味を辞書で調べ，自分自身の単語帳を作成し，ノートに教科書の英文を筆写し，訳文を書いて授業に臨むこと。授業には辞書を持参すること。復習として，毎日繰り返し英文筆写と音読を怠らないこと。					
注意点		【成績の評価方法・評価基準】 2回の定期試験を行う。時間は50分とする。2回の試験の平均（60％）と，小テスト・課題・発表・演習（40％）から総合的に成績を評価する。上述の到達目標，授業に対する積極的な取り組み，授業内容の理解および運用力への到達を評価基準とする。 【備考】 毎回，参考書と辞書を持参すること。 【教員の連絡先】 研究室：A棟3階（A-303） 内線電話：8900 E-mail：k.fujita アットマーク maizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること）					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明 英文読解，Grammar Lesson 14 分詞 (1)			1， 2， 3， 4	
		2週	英文読解，Grammar Lesson 15 分詞 (2)			1， 2， 3， 4	
		3週	英文読解，Grammar Lesson 16 分詞 (3)			1， 2， 3， 4	
		4週	英文読解，Grammar Plus 分詞			1， 2， 3， 4	
		5週	英文読解，Grammar Review			1， 2， 3， 4	
		6週	英文読解，Grammar Review			1， 2， 3， 4	
		7週	英文読解，Grammar Review			1， 2， 3， 4	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	英文読解，Grammar Lesson 17 比較 (1)			1， 2， 3， 4	

		10週	英文読解, Grammar Lesson 18 比較 (2)	1, 2, 3, 4
		11週	英文読解, Grammar Plus 比較	1, 2, 3, 4
		12週	英文読解, Grammar Review	1, 2, 3, 4
		13週	英文読解, Grammar Review	1, 2, 3, 4
		14週	英文読解, Grammar Review	1, 2, 3, 4
		15週	英文読解, Grammar Review	1, 2, 3, 4
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	試験	発表	相互評価	実技等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0